

- (1) 工事コストの低減
③設計方法の見直し

制限表面に抵触させない工法の選定

高知空港市道地下道工事

【施策の概要】

- 作業車両が制限表面に抵触しないようにするために掘削幅を10m拡幅して作業スペースを設け、夜間作業を減らすことにより、コストの縮減を図る。

【施策のポイント】

高知空港滑走路延長工事は、空港を供用しながらの作業となり、制限表面を抵触する作業は夜間となる。

夜間作業を減らすためにオープン掘削幅を10m拡幅して作業スペースを設け、作業車両が制限表面に抵触しないようにした。

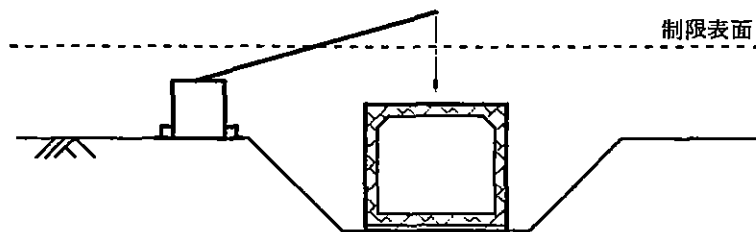
このことから掘削土量は増えたが、夜間作業が減ったのでトータルコストは減少した。(縮減率：12.4%、縮減額、262百万円)

【類似の取り組みを行っている工事】

市道地下道工事(その2)、市道地下道北工事 2件

【施策の実施状況・イメージ図】

- 掘削幅を10m拡幅しない場合



- 掘削幅を10m拡幅した場合

